

教科・科目名：現代文A			
履修学年・対象	2年	理系 2単位	
使用教科書	出版社：教育出版	名称：現代文A青春文学名作選	
	三省堂	現代文B 改訂版	
副教材 (授業で使用)	出版社：京都書房	名称：新国語総合ガイド四訂版(一年時購入済み)	
	明治書院	現代評論文選 新版( " )	
	Z会出版	現代文キーワード読解 改訂版( " )	
授業の目標・ 内容・進め方	現代文は、基本的に正確に読むこと、そして正確にまとめること、さらに自分の意見を書くことという3つを基本としている。予習が重要であるので、こころして取組んでほしい。特に2年次では、評論を中心としながら、読解の技術も身につけるので、演習にも対応することをのぞむ。そのほかに社説ノート、読書マラソン、読書ラリー、コラムコンクール(毎月)、エッセイ作文コンクールへの応募、漢字検定など、さまざまなプログラムを用意している。常に積極的な姿勢で学習に臨んでほしい。成績については試験だけでなく、そういった取組み全てを考慮してつける。		
授業計画	4月	評論「情報のポスト近代論」メディア論	
	5月	山月記 評論「自分の死を見届けるために」	第1回試験
	6月	評論「グローバル化の中の文化と権力」 漢検①	
	7月	現代小説・センター演習	第2回試験
	夏休		
	9月	近代詩	
	10月	評論「共通感覚の再発見」、作品創作「現代学生百人一首」	第3回試験
	11月	評論「近代政治における排除の問題」 漢検②	
	12月	評論「移動の時代」、小論文	第4回試験
	1月	小論文、舞姫 漢検③ 小論文模試	
	2月	舞姫、「ベルリン1888」	
	3月	現代小説(センター試験)	第5回試験

教科・科目名：現代文B			
履修学年・対象	2年	文系 2単位	
使用教科書	出版社：三省堂	名称：現代文B 改訂版	
副教材 (授業で使用)	出版社：京都書房	名称：新国語総合ガイド四訂版(一年時購入済み)	
	明治書院	現代評論文選 新版( " )	
	Z会出版	現代文キーワード読解 改訂版( " )	
授業の目標・ 内容・進め方	現代文は、基本的に正確に読むこと、そして正確にまとめること、さらに自分の意見を書くことという3つを基本としている。予習が重要であるので、こころして取組んでほしい。特に2年次では、評論を中心としながら、読解の技術も身につけるので、演習にも対応することをのぞむ。そのほかに社説ノート、読書マラソン、読書ラリー、コラムコンクール(毎月)、エッセイ作文コンクールへの応募、漢字検定など、さまざまなプログラムを用意している。常に積極的な姿勢で学習に臨んでほしい。成績については試験だけでなく、そういった取組み全てを考慮してつける。		
授業計画	4月	評論「情報のポスト近代論」メディア論	
	5月	山月記 評論「自分の死を見届けるために」	第1回試験
	6月	評論「グローバル化の中の文化と権力」 漢検①	
	7月	現代小説・センター演習	第2回試験
	夏休		
	9月	近代詩	
	10月	評論「共通感覚の再発見」、作品創作「現代学生百人一首」	第3回試験
	11月	評論「近代政治における排除の問題」 漢検②	
	12月	評論「移動の時代」、小論文	第4回試験
	1月	小論文、舞姫 漢検③ 小論文模試	
	2月	舞姫、「ベルリン1888」	
	3月	現代小説(センター試験)	第5回試験

# 教科・科目名： 古典A

履修学年・対象	2年	理系	2単位
使用教科書	出版社：東京書籍	名称：古典A	
	三省堂	古典B 改訂版(古文編・漢文編)	
副教材 (授業で使用)	出版社：京都書房	名称：新修古典文法 二訂版(1年次購入済)	
	日栄社	新・古典文法Lノート ( " )	
	尚文出版	必携 新明説漢文 ( " )	
	Z会出版	頻出古文単語400 改訂版 ( " )	
授業の目標・ 内容・進め方	<p>* 難度の高い古文の読解を目標にします。難度の高さは文章の長さ、それに伴う主述の捉えにくさ、敬語法の理解のしにくさ等にあらわれます。与えられた作品世界を確実に捉えるために数多くの作品を読みましょう。最終的にはセンター試験には余裕を持って解答する実力を養うことを目標とします。</p> <p>* 「音読してポイントを捉える予習」が重要。授業では、鍵となる文章を確実に捉えられているかを確認してゆきます。</p> <p>* 漢文は1年次の復習を中心に、問題演習をおこなってゆきます。</p>		
授業計画	4月	枕草子	
	5月	枕草子	第1回試験
	6月	* 漢文	
	7月	源氏物語	第2回試験
	夏休	源氏物語予習・漢文問題演習	
	9月	* 漢文	
	10月	源氏物語	[敬語法確認] 第3回試験
	11月	大鏡	
	12月	* 漢文	第4回試験
	1月	蜻蛉日記	
	2月	更級日記	
	3月	* 漢文	第5回試験

# 教科・科目名： 古典B

履修学年・対象	2年	文系	2単位
使用教科書	出版社：三省堂	名称：古典B 改訂版(古文編)(漢文編)	
副教材 (授業で使用)	出版社：京都書房	名称：新修古典文法 二訂版(1年次購入済)	
	日栄社	新・古典文法Lノート ( " )	
	尚文出版	必携 新明説漢文 ( " )	
	Z会出版	頻出古文単語400 改訂版 ( " )	
授業の目標・ 内容・進め方	<p>* 難度の高い古文の読解を目標にします。難度の高さは文章の長さ、それに伴う主述の捉えにくさ、敬語法の理解のしにくさ等にあらわれます。与えられた作品世界を確実に捉えるために数多くの作品を読みましょう。最終的にはセンター試験には余裕を持って解答する実力を養うことを目標とします。</p> <p>* 「音読してポイントを捉える予習」が重要です。授業では、鍵となる文章を確実に捉えられているかを確認してゆきます。</p> <p>* 漢文は1年次の復習を中心に、問題演習をおこなってゆきます。</p>		
授業計画	4月	枕草子	
	5月	枕草子	[助詞・敬語法基本] 第1回試験
	6月	* 漢文	(方丈記・十訓抄)
	7月	源氏物語	↓ 第2回試験
	夏休	源氏物語予習・漢文問題演習	
	9月	* 漢文	(源氏物語)
	10月	源氏物語	[敬語法確認] 第3回試験
	11月	大鏡	
	12月	* 漢文	(大鏡) 第4回試験
	1月	蜻蛉日記	
	2月	更級日記	↓
	3月	* 漢文	(西鶴諸国噺) 第5回試験

教科・科目名：国語演習				
履修学年・対象	2年	文系	2単位	
使用教科書	出版社：尚文出版 名称：センター試験総合版国語過去問題集			
副教材 (授業で使用)	出版社：Z会出版 名称：現代文キーワード読解 改訂版(1年時購入済)			
	京都書房	新修古典文法 二訂版( " )		
	尚文出版	必携 新明説漢文( " )		
授業の目標・ 内容・進め方	センター試験に対応できる力を育成する。教材を読むいわゆるふつうの授業や、文法、句形の確認や、論述、論文指導を行うこともあるが、この授業を通じて、センター試験レベルの問題を75%とれるようにしたい。センター試験は一問の配点が7点～10点と高いので、目標はあくまでも満点であり、論理的に正解を導くようところがけたい。そのためには解説を聞き、疑問を堂々と質問することが重要であり、○付けに終始してはいけない。得点ではなく、正解を導き出す過程を重視してほしい。授業で、読解や文法を扱うことがあるのも、その基礎的な力を確認するためである。			
授業計画	4月	問題演習	文法の確認	
	5月		文法の確認、本文解釈	第1回試験
	6月		文法の確認、本文解釈	
	7月		文法の確認、本文解釈	第2回試験
	夏休			
	9月		実践問題演習	
	10月		実践問題演習	第3回試験
	11月		実践問題演習	
	12月		実践問題演習	第4回試験
	1月			
	2月			
	3月			第5回試験

# 教科・科目名：世界史B

履修学年・対象	2年	文系	3単位	
使用教科書	出版社：実教出版 名称：世界史B 新訂版			
副教材 (授業で使用)	出版社：浜島書店 名称：ニューステージ 世界史詳覧			
	出版社：啓隆社 名称：新世界史要点ノート 応用編			
授業の目標・ 内容・進め方	<p>高校1年次の授業を踏まえて、さらに世界史の見方を学ぶ。今年度は世界史の初めから、ヨーロッパの時代区分で言えば、古代・中世を概観する。別の言い方をすれば、高校3年次には、近代・現代に進むので、その前提としての近代以前を概観するということである。</p> <p>事前に教科書などを見て、学習内容を概観し、意味が分からないところがあった場合は、メモなどをしておく。そして、授業中にわからなかったところを理解できるように集中して聞くと効率よく学習できる。何故そのようになったのか、原因・結果をしっかりとつかんで、板書を写すだけでなく、ノートに自分の言葉でまとめるように心掛けてほしい。高1の頃に比べると、授業スピードも速くなる。テスト前にまとめて勉強すれば大丈夫という考えは捨て、普段の授業をしっかりと聞くこと。</p>			
課題・提出物	ノートなどで学習の取り組み状況を確認し、アドバイスする機会を設ける。夏休みにはレポートを課す。			
授業計画	4月	古代オリエント(～ペルシア帝国)		
	5月	ギリシア・ローマ世界とキリスト教	第1回テスト	
	6月	イラン・インド・東南アジア		
	7月	中国(黄河文明)	第2回テスト	
	9月	中国(周～秦漢)		
	10月	中国(魏晉南北朝～隋・唐)	第3回テスト	
	11月	中国(宋・元)		
	12月	イスラム世界	第4回テスト	
	1月	ゲルマンの活動, フランク王国		
	2月	ビザンツ帝国, スラブ民族		
	3月	十字軍と英仏百年戦争	第5回テスト	
	長期 休暇	夏休み: 課題レポート		

# 教科・科目名：地理A

履修学年・対象	2年	理系	2単位
使用教科書	出版社：清水書院	名称：現代地理A	
副教材	出版社：二宮書店	名称：高等地図帳	
	出版社：とうほう	名称：ウィニングコンパス 地理の整理と演習	
	出版社：帝国書院	名称：新詳地理資料コンプリート2019	
授業の目標・内容・進め方	<p>目標：地理的な見方・考え方を培う。                  地形・気候・地図・環境問題などのテーマを中心に、歴史的変遷を踏まえながら現象と原因の理解を深め、地理的な見方・考え方を養う。                  ○プリントを使って、地図帳・資料集・教科書を参考に説明・設問を展開する。                  ○毎回の授業では地図帳、資料集を必ず持参すること。                  理系対象なのでセンター試験を念頭に基礎・基本の部分を中心にする。                  また、一般常識を身につけ、世界の諸問題について考えることも念頭に置く。                  センター試験受験者は3年次の地理演習で継続学習と応用演習をする。                  夏期課題…大地形に関するプリント 冬期課題…地域調査に関する問題演習</p>		
課題・提出物	夏期と冬期の休みに課題を課す 前期と後期にノートを提出		
授業計画	4月	地球の大きさ 時差 大地形	
	5月	山地の地形 平野の地形	第1回試験
	6月	平野の地形 オーストラリア事前学習	
	7月	海岸の地形 その他の地形(さんご礁 氷河 乾燥)	第2回試験
	9月	地形図と地域調査 地図投影法 小縮尺の地図	
	10月	気候要素 熱帯	第3回試験
	11月	乾燥帯 温帯	
	12月	冷帯 寒帯 高山気候	第4回試験
	1月	植生・土壌 環境問題	
	2月	環境・エネルギー問題 農林水産業	
	3月	農林水産業	第5回試験
	長期	夏期…大地形のプリント	
	休暇	冬期…地域調査に関する問題	

教科・科目名：地理B			
履修学年・対象	2年	文系 3単位	
使用教科書	出版社：帝国書院	名称：新詳地理B	
副教材	出版社：二宮書店	名称：高等地図帳	
	出版社：とうほう	名称：ウィニングコンパス2019	
	出版社：帝国書院	名称：新詳地理資料コンプリート2019	
授業の目標・内容・進め方	<p>目標：地理的な見方・考え方を培う。</p> <p>自然、国家・国際関係、開発と生産活動、生活の場、地図・地誌などのテーマを歴史の変遷を含めて、現象と原因について地理的な見方・考え方を養う。</p> <p>○副教材の要点整理を参考に、板書で重点事項を確認。地図帳・資料集・教科書を参考に説明・設問を展開する。なお、毎回地図帳、資料集を使用するので、必ず持参すること。</p> <p>○国公立志望者対象であるので、まずセンター試験8割のレベルから東大一橋大の記述問題まで対応できるような、分析力・記述力を養う。将来のために、一般常識を身につけるといことも念頭に置く。</p>		
課題・提出物	月に1回の国名テスト、夏期冬期に課題を課す。前期と後期にノートを提出		
授業計画	4月	世界の大地形	
	5月	小地形、その他の地形、地形図など	第1回試験
	6月	地図投映法、気候要素と気候因子	
	7月	ケッペンの気候区分	第2回試験
	9月	ケッペンの気候区分、環境問題	
	10月	世界の農林水産業、食糧問題	第3回試験
	11月	世界のエネルギー問題、鉱産資源	
	12月	世界の工業、第三次産業	第4回試験
	1月	村落と都市	
	2月	都市と都市問題、交通通信	
	3月	世界を結ぶ交通・通信	第5回試験
	長期休暇	センター演習	

# 教科・科目名：日本史B

履修学年・対象	2年 文系	3 単位	
使用教科書	出版社：実教出版	名称：日本史B	
副教材 (授業で使用)	出版社：実教出版	名称：新詳述 日本史史料集	
	浜島書店	新詳日本史	
授業の目標・ 内容・進め方	<p>* 高校2年では、原始から織豊政権までの範囲を学習する予定。</p> <p>* 日本史は用語のみを暗記すればよい科目ではない。歴史の流れを重視して、事件・事項の内容、原因、結果などの理解を深める学習を心掛ける。</p> <p>* 3年終了時までには、日本史の通史を終了させるために、授業のペースが慣れるにしたがって速度を上げる予定でいる。したがって、各自授業に集中するとともに、下記のような「家庭学習の仕方」を参照して、学習習慣を確立すること。</p> <p>* 授業は講義形式が基本であるが、質問などを行うので、とにかく考える習慣を身につけてほしい。</p> <p>* 2年次の授業ではプリントを使用するが、授業中メモなどをとり、充実したノート作りを行い、学習の成果をしっかりと確認すること。</p>		
課題・提出物	夏休み：博物館または歴史関係の新書レポート、入試休み：問題演習(自主課題)		
授業計画	4月	ガイダンス、人類の創生	
	5月	大陸との交流、古代国家の成立過程、律令国家の成立	第1回試験
	6月	律令国家の成立	
	7月	律令国家の成立、律令制の崩壊	第2回試験
	9月	律令制の崩壊、中世社会の成立	
	10月	中世社会の成立	第3回試験
	11月	鎌倉時代の社会	
	12月	鎌倉時代の社会、南北朝と室町幕府	第4回試験
	1月	南北朝と室町幕府、民衆の台頭、下剋上の時代	
	2月	下剋上の時代、織豊政権	
	3月	織豊政権	第5回試験
	長期 休暇	夏休：博物館見学または読書のレポート 冬・入試休：問題演習またはレポート課題	

教科・科目名 : 数学Ⅱ $\alpha$ (高校からの進学生)			
履修学年・対象	2年 文系	3単位	
使用教科書	出版社: 数研出版	名称: 数学B	
副教材 (授業で使用)	出版社: 数研出版	名称: 青チャート 数学Ⅱ+B	
	出版社: 数研出版	名称: リンク数学演習受験編 I・A, II・B	
授業の目標・ 内容・進め方	この科目で、文系数学としての流れを一通り完成させる。履修すべき内容で取り残した微分法と積分法・数列・ベクトルを学習するが、教科書にない内容も含めて学習していくものとする。		
授業計画	4月	数B 数列	
	5月	数B 数列	第1回試験
	6月	数B 数列	
	7月	数B 平面上のベクトル	第2回試験
	夏休		
	9月	数B 平面上のベクトル	
	10月	数B 平面上のベクトル	第3回試験
	11月	数B 空間のベクトル	
	12月	数B 空間のベクトル	第4回試験
	1月	数B 空間のベクトル	
	2月	総合演習	
	3月	総合演習	第5回試験

教科・科目名 : 数学Ⅱ $\alpha$ (中学からの進学生)			
履修学年・対象	2年 文系	3単位	
使用教科書	出版社: 数研出版	名称: 数学Ⅱ, 数学B	
副教材 (授業で使用)	出版社: 数研出版	名称: チャート式基礎からの数学Ⅱ+B	
	出版社: 数研出版	名称: リンク数学演習受験編 I・A, II・B	
授業の目標・ 内容・進め方	この科目で、文系数学としての流れを一通り完成させる。履修すべき内容で取り残した微分法と積分法・ベクトルを学習するが、教科書にない内容も含めて学習していくものとする。		
授業計画	4月	数B 平面上のベクトル(ベクトル方程式)/空間のベクトル	
	5月	数B 空間のベクトル	第1回試験
	6月	数B 空間のベクトル	
	7月	数Ⅱ 微分法と積分法	第2回試験
	夏休		
	9月	数Ⅱ 微分法と積分法	
	10月	数Ⅱ 微分法と積分法	第3回試験
	11月	総合演習	
	12月	総合演習	第4回試験
	1月	総合演習	
	2月	総合演習	
	3月	総合演習	第5回試験

## 教科・科目名 : 数学Ⅱβ (高校からの進学生)

履修学年・対象	2年	文系	2単位
使用教科書	出版社: 数研出版	名称: 数学Ⅱ	
副教材 (授業で使用)	出版社: 数研出版	名称: 青チャート 数学Ⅱ+B	
	出版社: 数研出版	名称: リンク数学演習受験編 I・A, II・B	
授業の目標・ 内容・進め方	<p>数学Ⅱの微分法と積分法について、教科書にない内容も含めて学習していく。その後、大学入試問題を用いた総合演習を行う。センター試験問題レベルの実力を完成させることを目標とする。1月下旬に行われるチャレンジセンターが、一つの目安になる。</p>		
授業計画	4月	数Ⅱ 対数関数のグラフ	
	5月	数Ⅱ 微分法と積分法	第1回試験
	6月	数Ⅱ 微分法と積分法	
	7月	数Ⅱ 微分法と積分法	第2回試験
	夏休		
	9月	総合演習	
	10月	総合演習	第3回試験
	11月	総合演習	
	12月	総合演習	第4回試験
	1月	総合演習	
	2月	総合演習	
	3月	総合演習	第5回試験

## 教科・科目名 : 数学Ⅱβ (中学からの進学生)

履修学年・対象	2年	文系	2単位
使用教科書	出版社: 数研出版	名称: 数学Ⅱ	
副教材 (授業で使用)	出版社: 数研出版	名称: チャート式基礎からの数学Ⅱ+B	
	出版社: 数研出版	名称: リンク数学演習受験編 I・A, II・B	
授業の目標・ 内容・進め方	大学入試問題を用いた総合演習を行う。センター試験問題レベルの実力を完成させることを目標とする。1月下旬に行われるチャレンジセンターが、一つの目安になる。		
授業計画	4月	総合演習	
	5月	総合演習	第1回試験
	6月	総合演習	
	7月	総合演習	第2回試験
	夏休		
	9月	総合演習	
	10月	総合演習	第3回試験
	11月	総合演習	
	12月	総合演習	第4回試験
	1月	総合演習	
	2月	総合演習	
	3月	総合演習	第5回試験

<b>教科・科目名 : 数学Ⅱ</b> (高校からの進学生)			
履修学年・対象	2年	理系 3単位	
使用教科書	出版社: 数研出版	名称: 数学Ⅱ, 数学Ⅲ	
副教材 (授業で使用)	出版社: 数研出版	名称: 青チャート 数学Ⅱ+B	
	出版社: 数研出版	名称: チャート式基礎からの数学Ⅲ	
授業の目標・ 内容・進め方	<p>数学Ⅱと数学Ⅲの微分積分の内容を扱う。両者の差異は扱う関数と厳密さにある。前者では多項式関数を扱い、この関数を通して微分積分の概念理解から応用までを扱う。後者では極限の概念をより鮮明にし、関数の連続性や微分可能性といった解析学の核心的な概念をも付け加えてより厳密な体系を構築する。そして無理関数、有理関数、三角関数、指数・対数関数、双曲線関数等々初等関数の大半を加えて、微分積分の計算を絶えず行いつつ上滑りしない厳密さの追及で、最後の積分法の実用である微分方程式まで突き進む土台作りをしていく。</p>		
授業計画	4月	数Ⅱ 対数関数のグラフ, 微分法と積分法	
	5月	数Ⅱ 微分法と積分法	第1回試験
	6月	数Ⅱ 微分法と積分法, 数学Ⅲ 関数	
	7月	数Ⅲ 極限	第2回試験
	夏休		
	9月	数Ⅲ 極限	
	10月	数Ⅲ 極限	第3回試験
	11月	数Ⅲ 極限	
	12月	数Ⅲ 微分法	第4回試験
	1月	数Ⅲ 微分法	
	2月	数Ⅲ 微分法の応用	
	3月	数Ⅲ 微分法の応用	第5回試験

<b>教科・科目名 : 数学Ⅱ</b> (中学からの進学生)			
履修学年・対象	2年	理系 3単位	
使用教科書	出版社: 数研出版	名称: 数学Ⅱ, 数学Ⅲ	
副教材 (授業で使用)	出版社: 数研出版	名称: チャート式基礎からの数学Ⅱ+B	
	出版社: 数研出版	名称: チャート式基礎からの数学Ⅲ	
授業の目標・ 内容・進め方	<p>数学Ⅱと数学Ⅲの微分積分の内容を扱う。両者の差異は扱う関数と厳密さにある。前者では多項式関数を扱い、この関数を通して微分積分の概念理解から応用までを扱う。後者では極限の概念をより鮮明にし、関数の連続性や微分可能性といった解析学の核心的な概念をも付け加えてより厳密な体系を構築する。そして無理関数、有理関数、三角関数、指数・対数関数、双曲線関数等々初等関数の大半を加えて、微分積分の計算を絶えず行いつつ上滑りしない厳密さの追及で、最後の積分法の応用である微分方程式まで突き進む土台作りをしていく。</p>		
授業計画	4月	数Ⅱ 微分法と積分法	
	5月	数Ⅱ 微分法と積分法	第1回試験
	6月	数Ⅱ 微分法と積分法	
	7月	数Ⅲ 極限	第2回試験
	夏休		
	9月	数Ⅲ 極限	
	10月	数Ⅲ 極限	第3回試験
	11月	数Ⅲ 極限	
	12月	数Ⅲ 微分法	第4回試験
	1月	数Ⅲ 微分法	
	2月	数Ⅲ 微分法の応用	
	3月	数Ⅲ 微分法の応用	第5回試験

<b>教科・科目名 : 数学B (中学からの進学生)</b>			
履修学年・対象	2年	理系 3単位	
使用教科書	出版社: 数研出版	名称: 数学B, III	
副教材 (授業で使用)	出版社: 数研出版	名称: チャート式基礎からの数学II+B	
	出版社: 数研出版	名称: チャート式基礎からの数学III	
授業の目標・ 内容・進め方	科目名は数Bだが, 前半で数学Bの「ベクトル」を仕上げ, 後半では前倒しで, 数学IIIの「関数」「複素数平面」「式と曲線」を学習する。ベクトルでは, 平面ベクトルの応用として空間ベクトルを捉え図形と数式との関連性を理解する。「複素数平面」では複素数の概念をさらに拡張し, 平面としてとらえる。「式と曲線」は, 放物線、楕円、双曲線を基本事項として学習して個々の曲線が持つ性質と微分積分との融合を垣間見てゆく。		
授業計画	4月	数B 平面上のベクトル(ベクトル方程式)/空間のベクトル	
	5月	数B 空間のベクトル	第1回試験
	6月	数B 空間のベクトル	
	7月	数III 関数	第2回試験
	夏休		
	9月	数III 関数/複素数平面	
	10月	数III 複素数平面	第3回試験
	11月	数III 複素数平面	
	12月	数III 式と曲線	第4回試験
	1月	数III 式と曲線	
	2月	数III 式と曲線	
	3月	数III 式と曲線	第5回試験

<b>教科・科目名 : 数学B (高校からの進学生)</b>			
履修学年・対象	2年	理系 3単位	
使用教科書	出版社: 数研出版	名称: 数学B, 数学Ⅲ	
副教材 (授業で使用)	出版社: 数研出版	名称: 青チャート 数学Ⅱ+B	
	出版社: 数研出版	名称: チャート式基礎からの数学Ⅲ	
授業の目標・ 内容・進め方	科目名は数Bだが、前半で数学Bの「数列」「平面ベクトル」「空間ベクトル」を学習し、後半では前倒しで、数学Ⅲの「複素数平面」「式と曲線」を学習する。数列は基本的な内容も含め、漸化式の解き方や確率との融合を学習する。ベクトルでは、平面ベクトルの応用として空間ベクトルを捉え図形と数式との関連性を理解する。複素数平面はすでに導入してある複素数の概念と方程式との関連性を学習する。式と曲線は放物線、楕円、双曲線を基本事項として学習して個々の曲線が持つ性質と微分積分との融合を垣間見てゆく。		
授業計画	4月	数B 数列	
	5月	数B 数列	第1回試験
	6月	数B 数列, 平面上のベクトル	
	7月	数B 平面上のベクトル	第2回試験
	夏休		
	9月	数B 平面上のベクトル, 空間のベクトル	
	10月	数B 空間のベクトル	第3回試験
	11月	数B 空間のベクトル	
	12月	数Ⅲ 複素数平面	第4回試験
	1月	数Ⅲ 複素数平面	
	2月	数Ⅲ 式と曲線	
	3月	数Ⅲ 式と曲線	第5回試験

# 教科・科目名：化学基礎

履修学年・対象	2年	文系	1単位
使用教科書	出版社：啓林館	名称：化学基礎	
副教材 (授業で使用)	出版社：実教出版	名称：サイエンスビュー化学総合資料	
	第一学習社	標準セミナー化学基礎	
授業の目標・内容・進め方	<p>1年次に学習した「物質の構成」「物質の変化」の土台の上に、教科書の1年次に学習しなかった範囲(酸化還元反応)を学習する。</p> <p>授業はプリントに沿って行うが、授業時には教科書・図説・参考書なども必ず用意し、よく目を通して理解しておくこと。</p> <p>週1時間と授業時間が多くないので、各自で積極的に問題集に取り組み、繰り返し演習を重ね、理解を深める必要がある。</p>		
課題・提出物	通常授業課題、長期休暇課題、実験レポートなど		
成績評価の方法	定期試験約80%、課題・提出物・授業態度評価約20%		
授業計画	4月	第3部 第3章 酸化還元反応 第2節 酸化剤と還元剤	
	5月	第3部 第3章 酸化還元反応 第3節 金属の酸化還元反応	第1回試験
	6月	第3部 第3章 酸化還元反応 第4節 酸化還元反応と人間生活	
	7月	第4節 酸化還元反応と人間生活	第2回試験
	夏休		
	9月	高1・2の復習	
	10月	高1・2の復習	第3回試験
	11月	高1・2の復習	
	12月	高1・2の復習	第4回試験
	1月	高1・2の復習	
	2月	高1・2の復習	
	3月	高1・2の復習	第5回試験

教科・科目名：化学			
履修学年・対象	2年	理系 3単位	
使用教科書	出版社：啓林館	名称：化学	
副教材 (授業で使用)	出版社：実教出版	名称：サイエンスビュー化学総合資料	
	第一学習社	19セミナー化学基礎+化学	
	数研出版	2019化学重要問題集	
	数研出版	フォローアップドリル化学－無機物質－	
授業の目標・内容・進め方	<p>1年次に学習した「物質の構成」「物質の変化」の土台の上に、「化学」の範囲（理論化学・無機化学）を学習する。</p> <p>授業はプリントに沿って行うが、授業時には教科書・図説・参考書なども必ず用意し、よく目を通して理解しておくこと。</p> <p>週3時間で、進度が速いので、問題集は定期試験前にまとめてではなく、毎授業後すぐに取り組むこと。また、試験前までに繰り返し解き直し、十分に身につけておくこと。実験レポートなどの提出物は、「調べ・まとめ・発表する」力をみる上で、重要視する。</p>		
課題・提出物	通常授業課題、長期休暇課題、実験レポートなど		
成績評価の方法	定期試験約80%、課題・提出物・授業態度評価約20%		
授業計画	4月	第3部 第3章 酸化還元反応	
	5月	第3章 酸化還元反応、第2部 第2章 化学反応と電気エネルギー	第1回試験
	6月	第1部 第1章 物質の状態変化 第2章 気体の性質	
	7月	第3章 固体の構造 第4章 溶液の性質	第2回試験
	夏休		
	9月	第2部 第1章 化学反応と熱・光エネルギー	
	10月	第3章 反応速度 第4章 化学平衡	第3回試験
	11月	第3部 第1章 非金属元素と周期表	
	12月	非金属元素と周期表	第4回試験
	1月	第2章 典型金属元素 第3章 遷移元素	
	2月	第4章 生活と無機物質	
	3月		第5回試験

**教科・科目名：生物基礎**

履修学年・対象	2年	文系	2単位
使用教科書	出版社：数研出版 名称：改訂版 生物基礎		
副教材 (授業で使用)	出版社：浜島書店 名称：ニューステージ新生物図表		
	東京書籍 改訂ニューステップアップ生物基礎		
授業の目標・内容・進め方	高校2年では生物基礎の全範囲を、講義中心に学びます。基本的な内容から、私たちの健康の維持や生態系の保全に関わる発展的な内容まで幅広く学習し、観察や実験も取り入れていく予定です。		
課題・提出物	通常授業課題、実験レポート など		
成績評価の方法	定期試験 80%、提出物その他 20%		
授業計画	4月	細胞・ATP	
	5月	酵素・呼吸・光合成	第1回試験
	6月	細胞分裂・染色体	
	7月	DNAと形質発現	第2回試験
	夏休		
	9月	血液	
	10月	肝臓・腎臓	第3回試験
	11月	自律神経・内分泌	
	12月	免疫	第4回試験
	1月	免疫	
	2月	生態系	
	3月	生態系	第5回試験

# 教科・科目名：生物基礎・生物

履修学年・対象	2年	理系（生物化学選択者）	5単位
使用教科書	出版社：東京書籍	改訂 生物基礎	
	東京書籍	改訂 生物	
副教材 (授業で使用)	出版社：浜島書店	ニューステージ新生物図表	
	東京書籍	ニューグローバル 生物基礎+生物	
授業の目標・内容・進め方	<p>高校2年では、科目「生物基礎」の全分野、および科目「生物」の細胞・DNA・生殖・遺伝分野を連続して学ぶ。基本的な内容から、発展的な内容まで幅広く学習し、観察や実験も数多く取り入れていく。実験や観察のレポートは、生物の学習の根幹にかかわるものとして重視する。大学生になっても通用する実験の力量・レポートを書く力量の育成を目指す。3年次につながる生物学の膨大な内容の学習を通じて、自然への驚嘆・畏怖・敬意に基づく生命観・世界観の形成を目指す。</p>		
課題・提出物	実験レポート、通常授業課題 など		
成績評価の方法	定期試験 80%、提出物その他 20%		
授業計画	4月	細胞・細胞小器官	
	5月	細胞膜・浸透圧・ATP・酵素	第1回試験
	6月	細胞分裂・細胞周期・染色体・DNA	
	7月	形質発現・バイオテクノロジー	第2回試験
	夏休		
	9月	減数分裂・遺伝	
	10月	連鎖と組換え ショウジョウバエの遺伝実験（長期）	第3回試験
	11月	血液・肝臓・腎臓	↓
	12月	自律神経系・内分泌系	↓
	1月	免疫系	
	2月	免疫系・遷移・森林生態系	
3月	バイオーム	第5回試験	

**教科・科目名：生物基礎**

履修学年・対象	2年	理系（物理化学選択者）	2単位
使用教科書	出版社：数研出版	名称：改訂版 生物基礎	
副教材 (授業で使用)	出版社：浜島書店	名称：ニューステージ新生物図表	
	東京書籍	改訂ニューステップアップ生物基礎	
授業の目標・内容・進め方	高校2年では生物基礎の全範囲を、講義中心に学びます。基本的な内容から、私たちの健康の維持や生態系の保全に関わる発展的な内容まで幅広く学習し、観察や実験も取り入れていく予定です。特に物理化学選択者の皆さんには、生物学の世界に触れることで、自然科学の奥行きของ広さを感じてほしいと思います。抽象化された物体や物質というものが、この世界にそのまま存在することはほとんどありません。生命科学や地球科学にも広く視野を持つことで、初めて皆さんの科学的知識は生きたものとなるのです。		
課題・提出物	通常授業課題、実験レポート など		
成績評価の方法	定期試験 80%、提出物その他 20%		
授業計画	4月	細胞・ATP	
	5月	酵素・呼吸・光合成	第1回試験
	6月	細胞分裂・染色体	
	7月	DNAと形質発現	第2回試験
	夏休		
	9月	血液	
	10月	肝臓・腎臓	第3回試験
	11月	自律神経・内分泌	
	12月	免疫	第4回試験
	1月	免疫	
	2月	生態系	
	3月	生態系	第5回試験

教科・科目名：地学基礎			
履修学年・対象	2年 文系	2単位	
使用教科書	出版社：数研出版	名称：地学基礎	
副教材 (授業で使用)	出版社：第一学習社	名称：スクエア最新図説地学	
	出版社：第一学習社	名称：セミナー地学基礎	
授業の目標・ 内容・進め方	<p>文系のセンター試験受験者が過大な負担なく学習できる理科として、本来2単位で履修する教科書の内容を本校では2年かけて4単位で学ぶ。授業進度は比較的遅めだが、その分教科書のレベル以上に踏み込んで学習する部分もある。高校で学ぶ地学基礎の分野は『地質』『天文』『気象』『地球環境』の4分野に大別されるが、2年次ではこのうち最も広範で重要な『地質』分野について学ぶ。プリントに記入しながらの学習が中心となるが、特に岩石鉱物や化石の分野では実物に触れながら学習を進めていく。</p>		
授業計画	4月	太陽系の中の地球	
	5月	地球の形と大きさ	第1回試験
	6月	地球の構造	
	7月	プレートの運動とそれに伴う現象	第2回試験
	夏休		
	9月	プレートの運動とそれに伴う現象	
	10月	火山	第3回試験
	11月	地震と地殻変動	
	12月	地震と地殻変動	第4回試験
	1月	地層の形成	
	2月	古生物の変遷	
	3月	古生物の変遷	第5回試験

教科・科目名：物理			
履修学年・対象	2年	理系 3単位	
使用教科書	出版社：数研出版	名称：物理基礎、物理	
副教材 (授業で使用)	出版社：第一学習社	名称：セミナー物理基礎 + 物理	
	数研出版	名称：フォトサイエンス物理図録	
	数研出版	名称：リードLightノート物理基礎 + 物理	
授業の目標 内容・進め方	<p>1年次に学んだ内容に加えて、物理の内容の慣性力・単振動・万有引力の法則を扱い、高校で学習すべき『力学』を完成させる。さらに『熱力学』では気体の分子運動論、内部エネルギーまで扱い、力学と合わせたエネルギーの概念を学習する。『波動』ではその基本的原理を単振動をからめて理解し、代表的な波である音波や光波の内容では、身近にある物理現象を紹介する。『電磁気学』では静電気の内容から入り、電流へと学習を進める。一見すると複雑な自然の現象が、数少ない法則や原理から理解できる喜びを味わい、科学的な自然観を育成する。</p> <p>授業では、分野のつながりを考慮して教科書の物理基礎と物理を必要に応じて両方使用する。GS、GLコースで大きな進度の差はないが、GSコースでは、より発展的な問題演習に取り組む。また、各項目の境目で理解促進のための抜き打ちテストや、授業内容の確認テストを実施することがある。</p>		
課題・提出物	通常授業課題、各種小テスト、長期休暇課題、実験レポート等		
成績評価の方法	定期試験7～8割、課題提出物2～3割の割合で評価する		
授業計画	4月	円運動 慣性力	
	5月	万有引力 単振動	第1回試験
	6月	熱と温度 気体の法則	
	7月	気体の分子運動 気体の状態変化	第2回試験
	9月	波の性質	
	10月	音波の性質 物体の振動	第3回試験
	11月	光の進み方	
	12月	光の干渉	第4回試験
	1月	静電気 電場と電位	
	2月	静電気 電場と電位・コンデンサー	
	3月	コンデンサー	第5回試験
	長期 休暇	夏休：希望者を対象に夏期講習を実施予定	

教科・科目名 : Academic Writing Preparation for University Entrance Exams			
履修学年・対象	2年	共通 2単位	
使用教科書	出版社 : ブリティッシュ・カウンシルのオリジナル教材		
副教材 (授業で使)	出版社 : プリント教材他		
授業の目 標・内容・進 め方	<p>大学入試のライティング対策を目的としたアカデミックライティングコースです。総合的な書く力を伸ばし、自信を持って大学入試におけるライティング問題に取り組めるようになることを目標とします。</p> <p>ブリティッシュ・カウンシルの英語講師によるオールイングリッシュの授業です。英語で話し、書くことが求められます。受講生同士が協力して学ぶことが求められ、モチベーションを保ちながら学習をします。授業では「形式的アプローチ」と「実践的アプローチ」2つの要素を合わせたライティング指導を行います。「形式的アプローチ」では、模範文の分析を通して文の構成や言語表現などの知識をつけます。「実践的アプローチ」では、協働学習、ディスカッション、意見の集約などを行い、構成だけではなく内容に重きをおいた学習を行います。ライティング課題をこなし、添削された課題を書き直すことにより次の段階に進む前に誤りに気づき、書く力</p>		
学授業計画	1月	Explaining changes- present continuous	
	2月	Explaining opinions -using gerunds	ライティング課題
	3月		

# 教科・科目名 : コミュニケーション英語Ⅱ

履修学年・対象	2年	共通	3単位
使用教科書	出版社: Z会出版	名称: NEW TREASURE 5	
副教材 (授業で使用)	出版社: Z会出版	名称: NEW TREASURE 5 Work Book	
	出版社: Z会出版	名称: 速読英単語(必修編、上級編)	
授業の目標 内容・進め方	<p>◆難易度の高い長文を読解することになります。まずは音声での理解から文字での理解。その後、身につけたものを使って音声や文字を用いて自分の考えを相手に論理的に伝えることができるようになることが目的です。授業時に登場する語彙のレベルも高いので、授業があった日に復習することが必須です。</p> <p>◆ワークブックは自宅学習用に使います。</p> <p>◆語彙は多いほうが有利です。後回しにしているとやるべきことがたくさんになってしまい、手が回らなくなってしまいますよ。計画的に取り組みましょう。</p>		
授業計画		NEW TREASURE 5	
	4月	Lesson 1 The Hopes Contained in the National Anthem of South Africa	
	5月	Lesson 2 The value of the Ig Nobel Prizes	第1回試験
	6月	Lesson 3 The Effects of Too many choices	
	7月	Lesson 4 The Woman who Loved Refugees	第2回試験
	夏休	夏期休暇課題	
	9月	Lesson 5 Secret Codes in Your Pocket	
	10月	Lesson 6 New Advances in Tuna Cultivation	第3回試験
	11月	Lesson 7 "Education Fever" in South Korea	
	12月	Lesson 8 Laboratory Animals Go Hi-tech	第4回試験
	冬休	冬期休暇課題	
	1月	Lesson 9 What Can We Learn from Art?	
	2月	Lesson 10 The Problem of Consciousness	
	3月	FURTHER READING	第5試験

教科・科目名：英語演習Ⅱ			
履修学年・対象	2年	共通 1単位	
使用教科書	出版社：EMILE	名称：CROSSBEAM	
副教材 (授業で使用)	出版社：数研出版	名称：チャート式 基礎からの新々総合英語	
授業の目標・ 内容・進め方	この授業では、「コミュニケーション英語」、「英語表現」での学習(基本練習と応用練習)をふまえ、英検、センター試験レベルを目標として、読解の演習を行います。試験に必要な知識の定着と解答力の養成を図り、得点力アップと英検合格を目指します。		
授業計画	4月	CROSSBEAM (プリント)	
	5月		第1回試験
	6月		
	7月		第2回試験
	夏休		
	9月		
	10月		第3回試験
	11月		
	12月		第4回試験
	1月		
	2月		
	3月	↓	

# 教科・科目名：英語表現Ⅱ GLGS共通

履修学年・対象	2年	共通	2単位
使用教科書	出版社:三省堂	名称: CROWN English Expression Ⅱ	
副教材 (授業で使用)	出版社:数研出版	名称: チャート式基礎からの新総合英語	
	出版社:日栄社	名称: 発展演習 英作文	
	出版社:数研出版	名称: Write it Right 英作文	
	出版社:いいずな書店	名称: Vintage 英文法・語法	
授業の目標・ 内容・進め方	<p>今まで学習してきたものを活用して英文を書いていきます。語法や文法に気を付けて書くことは勿論ですが、最終的には文の構成を考えながらまとまった量の英文を書けるようになることが目標です。チャート式を参考にしながら英文を確認することで文法や語法を問う問題にも対応できる力を養います。</p> <p>英語の学習時には辞書とチャート式が準備されていることが望ましいです。</p>		
授業計画	4月	発展演習 英作文 2 受動態、3 完了形	
	5月	4助動詞、5名詞・代名詞、6重要動詞	第1回試験
	6月	7不定詞、8分詞、9動名詞	
	7月	10否定、11比較、12関係詞	第2回試験
	夏休		
	9月	13仮定法、14前置詞、15名詞説	
	10月	16・17副詞節	第3回試験
	11月	Wright it Right 1, 2	
	12月	3, 4	第4回試験
	冬休		
	1月	5, 6	
	2月	7, 8	
	3月	9	第5試験

# 教科・科目名：体育

履修学年・対象	2 年	共通	2 単位
使用教科書	出版社：大修館書店	名称：最新高等保健体育	
副教材 (授業で 使用)	出版社：	名称：	
授業の 目標・内容・ 進め方	<p>男子は球技を中心に学習するなかで、合理的な技術の獲得を目指す。また、打具を使うことにより、ボールやシャトルなどの対象物に与えられる速度が変わるので、道具の形状や大きさ、質量等の違いによる技能の違いや楽しみ方の違いも味わって欲しい。女子のダンスは、イメージに基づいて運動形態を自由につくることができるので、自分の身体や道具を使って表現する楽しさや喜びを味わって欲しい。</p> <p>1月以降に実施されるサッカー(男子)・バドミントン(女子)は、3年次の選択体育の準備段階として、班ノートを作成、次週の学習計画を班ごとに計画し、実践していく形式となる。計画の立案および、各班との調整や準備など、自ら進んで授業に取り組む姿勢が問われる。</p>		
課題・提出物	各種目見学者はレポート提出		
成績評価の方法	平常点(積極性・意欲・態度)20～40%。運動技術の習熟度、知識とその理解60～80%(各種目配分)。		
授業計画	男子	女子	
4月	球技大会練習	球技大会練習	
5月	} 体づくり運動 スポーツテスト・4km走 水泳 ソフトボール又は剣道	} 体づくり運動 スポーツテスト・3km走 水泳(平泳ぎ・背泳ぎ) バレーボール又は剣道	
6月			
7月			実技テスト
夏休			
9月			実技テスト
10月	} 硬式テニス又はバドミントン 時間走・4km走 サッカー 体育理論	} ダンス 時間走・3km走 バドミントン 体育理論	
11月			
12月			実技テスト
1月			
2月			
3月		実技テスト	
家庭学習の仕方	<p>日頃から体を動かす習慣をつける。またこれまで保健の授業で扱ってきたトレーニングの理論や、今年度扱う運動学習の内容と関連づけて取り組むとよい。</p> <p>ノートの取り方など 時間走などの記録をまとめ、スポーツテストの個人評価の分析と併せて、自己の体力レベルおよび技術レベルの向上に役立てる。サッカーおよびバドミントンでは、3年次の選択体育に向けて班ノートを作成する。</p>		

# 教科・科目名：保健

履修学年・対象	2年	共通	1単位
使用教科書	出版社：大修館書店 名称：最新高等保健体育		
副教材 (授業で使用)	授業プリント		
授業の目標・内容・進め方	<p>高校生の時期は心身の成長期で発達が著しい。生涯を通じて健康で活力にあふれ、安全な生活を送るための基礎となる時期なので、生涯の各期における健康の課題について学習する。前期は、心身の成長に多大な危険をもたらす喫煙や飲酒、薬物乱用などについて学ぶ。性機能の発達に伴い、性に対する関心や欲求が高まる時期なので、後期は性に関する正しい知識を身につけるとともに、異性の心理と生理を互いによく理解し行動できるよう学習を進めたい。</p>		
課題・提出物	ノート・授業プリント 夏休み冬休み課題等		
成績評価方法	第2回試験(7月)・第4回試験(12月)テスト80% 小テスト、課題、授業への取り組み等20%		
授業計画	4月	【現代社会と健康】喫煙や飲酒と健康	
	5月	【現代社会と健康】喫煙や飲酒と健康	
	6月	【現代社会と健康】薬物乱用と健康	
	7月	【生涯を通じる健康】水分摂取・熱中症	第2回試験
	夏休		
	9月	【現代社会と健康】医薬品と健康	
	10月	【生涯を通じる健康】思春期と性・性ホルモン	
	11月	【生涯を通じる健康】妊娠・胎児の成長	
	12月	【生涯を通じる健康】出産・人工妊娠中絶・家族計画	第4回試験
	1月	【生涯を通じる健康】感染症	
	2月	【生涯を通じる健康】性感染症・AIDS	
	3月		
	家庭学習の仕方	<p>週1時間の授業であるため、前回の授業内容を忘れがちとなるので授業の前日は、復習をする。また、生活に密着した内容であるので、新聞やニュース等で、健康に関連の深い内容については、興味を持って情報を収集するとよい。特に、医療・看護系に進路を考えている生徒は、1・2年のうちから、新聞記事や図書を読んでおくとお小論文対策となる。</p>	<p>ノートの取り方など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板の内容だけでなく、授業中に気づいたことはすべてメモを取る。</li> <li>・年間2回ノート提出。その際、体育および保健分野に関連した新聞記事をノートに貼り、指定されたレポートを書いて提出する。</li> </ul>

教科・科目名：家庭基礎			
履修学年・対象	高校2年	共通 2単位	
使用教科書	出版社：大修館	名称：新家庭基礎	
副教材 (授業で使用)	出版社：教育図書	名称：トータル・データ	
授業の目標・ 内容・進め方	<p>人間らしい生活を創造するためには、自分の生活を見直す力、家族や人々とかかわる力、生活を営む力、意思決定する力を身につけなければならない。そのための基本的な知識を学び、問題解決能力を養う。</p> <p>自分自身が自立するとともに、家族や地域社会の人々とともに生きるための生活を、主体的に創造していく力を養う。社会に出、独り立ちした時を想定し、より実践的知識・技術を身につける。</p> <p><b>【進め方】</b>基本的にプリントを使用し授業を行う。(各自ファイルを用意すること) 裁縫と調理の実習も適宜行う。(裁縫道具を用意しておくこと)</p>		
授業計画	4月	家族を見つめる	
	5月	家庭生活と社会/子どもの成長と発達	
	6月	子どもの成長と発達	
	7月	衣生活をつくる/「赤ちゃん甚平」製作	
	夏休		課題
	9月	「赤ちゃん甚平」製作	
	10月	「赤ちゃん甚平」製作	
	11月	食生活をつくる	調理実習
	12月	食生活をつくる	
	1月	高齢者の生活と福祉	
	2月	共生社会をつくる	調理実習
	3月	経済生活を設計する	